

祖国を愛し 祖国に愛された男 スメタナ

STEP1 スメタナの人生

()年ボヘミア北部に生まれる。

当時のチェコはオーストリアの支配下であり、チェコ語を使うことさえ禁じられていた。チェコが現在のような独立国となるのは1993年。



本名はチェコ語で()

ドイツ語で()という。

幼少期に父から()を教わり音楽に目覚める。

青年期には「音楽は()のように、テクニックは()のようになる。」と言うほど音楽に熱中。

作曲家()に出会い弟子入りする。

資金を集め()する。

()で育つも37歳で()を猛勉強する。

()の国民劇場指揮者として活躍。

晩年期には幻聴に悩まされ、その後聴力を失うも多くの作品を完成させる。

ロマン派もしくは()の一人として後世に名を残す。

★国民楽派とは

主にロマン派の時代、民族独自の文化や歴史や自然などに誇りを持ち、それらを作品に取り入れた作曲家たちを指す。(当時音楽の中心であるドイツ、イタリアは除く)

[例] ムソルグスキー@ロシア ドボルザーク@チェコ シベリウス@フィンランド

STEP2 スメタナの世界

♪売られた花嫁 ♪モルダウにおけるブランデンブルクの人々

♪連作交響詩『我が祖国』について

2曲目がブルタバ(モルダウ)!

・スメタナの代表的な管弦楽曲 ・1874～1879年に制作された ・6つの交響詩からなる

★連作交響詩とは

同じテーマやモチーフに基づき1連の作品を作る連作と、リストが確立した表題があるオーケストラで情景を表現する交響詩を合わせたもの。自由な形式。

〈ブルタバの作り〉ブルタバの2つの源流→ブルタバを表す旋律→森の狩猟→農民の結婚式→月の光、水の精の踊り→ブルタバを表す旋律→聖ヨハネの急流→幅広く流れるブルタバ→ビシェフラトの動機

主題は()と呼ばれるチェコの童謡がもとになっている。

その歌詞には「雨が降れば濡れますね、でも太陽が出れば乾きます。」とある。これを意識すると、今は雨が降るような苦しい状況でも、いつかは必ず晴れて明るい未来がやってきますという意味になる。

☆『我が祖国』は、毎年チェコで開催される()において、国を象徴する曲としてオープニングで演奏されている

STEP3 みんなで歌ってみよう

合唱 ♪モルダウ



STEP4 今日のまとめ

それではスメタナを一言で!

な人!